

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	立命館大学衣笠キャンパス新図書館	階数	地上3F、地下2F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	2,000 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月 0.0	評価の実施日	2013年11月28日
敷地面積	91,664 m ²	作成者	山本勝彦
建築面積	3,551 m ²	確認日	
延床面積	14,585 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.5

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	京都の建築文化を取り込み、周辺環境・キャンパスと調和する建築・環境デザイン。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
①室内会話規制、②床吹出空調、③横格子、軒、庇、ハイサイドライト、④キャンパス全体禁煙。	①窓・吹抜による広さ感、②節水型器具・湧水利用、③通信方法多様化、④階高4.3m以上確保。	①風致5種許可・軒・横格子ルーバーの採用。②ピロティ空間確保・ホール等コミュニティ利用・視線を遮らない樹木配置。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
①ハイサイドライトの採用、②太陽光発電システムの採用。	①省水型機器の採用、②リサイクル材(高炉セメント)使用、③不活性ガス消化剤採用。	①雨水排水負荷低減、②屋外照明の配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される